第１４０回　北海道地方交通審議会船員部会　議事概要

開催年月日	令和２年６月２６日（金）
開催場所	札幌第二合同庁舎（６階会議室）

□議　　題□

１．審議事項

なし

２．報告事項

（１）管内船員職業安定業務取扱状況（令和２年５月分）について

３．その他

（１）情報交換

（２）次回の船員部会開催日について

□議事概要□

１．報告事項

・事務局より、管内船員職業安定業務取扱状況（令和２年５月分）について、新規求人数が過去２年間で最少となる１３名であり、月間有効求人倍率も１倍を切ったことなど、報告があった。

２．質疑応答

・公益委員より、当月の成立がゼロであるのに対し、雇用保険（失業保険金）実受給者数が対前月比マイナス６名となっていることの背景について、質問があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響に対し、雇用保険（失業保険金）がセーフティーネットの役割を果たしているのか、質問があった。

・事務局より、成立は採用する旨の連絡を受けた時点に対し、雇用保険（失業保険金）は支給の手続きをした時点で数値を計上していること、３月に成立し、４月に最後の失業認定を受けた者などが、当月より失業保険金の受給者数から外れ、対前月比マイナス６名となっていること、回答があった。また、今後、新型コロナウイルス感染症の影響によって、失業者が増加した場合、雇用保険（失業保険金）実受給者数が増加するなど、翌月以降の統計データに反映されてくる可能性はあること、回答があった。

３．その他

・使用者委員より、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅客船については、業態は様々であるが運航を休止している船舶もあること、貨物船については、北海道に関して減便はあまりないこと、漁船については、感染者が発生して出漁できないなどの影響はないが漁価が下がっていること、情報提供があった。

・労働者委員より、訪船にあたっては感染症対策に配慮していること、また、製油所など一部の敷地には感染症対策のため入構できないこと、情報提供があった。

・労働者委員より、漁期を終えた漁船の乗組員などが数名離職していること、また、特に若い乗組員などが漁船から商船へ転換を希望する傾向があること、情報提供があった。

・事務局より、次回の船員部会は、令和２年７月３１日（金）１３時３０分より開催する予定であると連絡があった。

（以　上）

北海道運輸局海事振興部船員労政課